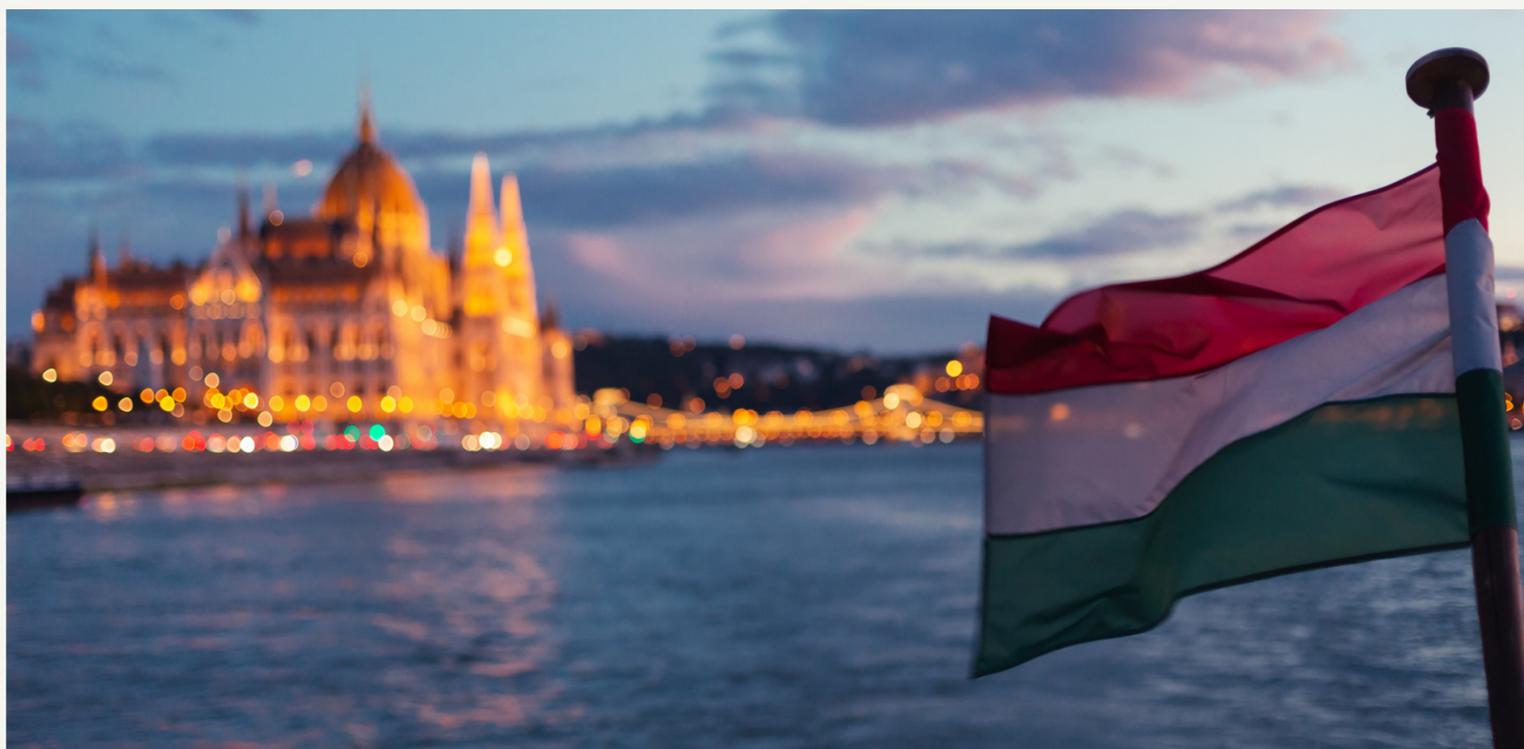


中東欧経済情報

2023年5月号

ハンガリー関連ニュース

ハンガリーの経済状況



ライフアイゼン銀行は2023年第2四半期の記者会見を開き、ハンガリーの経済状況についての分析を発表した。不景気は2023年夏まで続くとされており、ライフアイゼン銀行は以前は2023年平均では1%の経済成長を予想していたが、今回はそれを0%に下方修正した。2023年前半には景気が想定よりも大きく冷え込むとし

ている。第2四半期は昨年同四半期と比べ、マイナス成長になるという。物価上昇率は25%で実質賃金は約10%で減少した。一方、2月の貿易収支は黒字で、エネルギー価格も下がった。輸出の拡大により、第2四半期に物価上昇率はより下がり、年末に物価上昇率は前年比では一桁になるとされている。

出典：Forbes

ケチュケメート市のメルセデスベンツ工場の新たな増設



ケチュケメート市のメルセデスベンツ工場は2倍のサイズに拡大し、メルセデスベンツグループの最も重要な製造拠点の1つになるとシ

ーヤールトー外務貿易大臣が発表した。発表された増設によって新たな建屋が建設され、自動車ボディー製造ラインおよび組立ラインが設けられる。

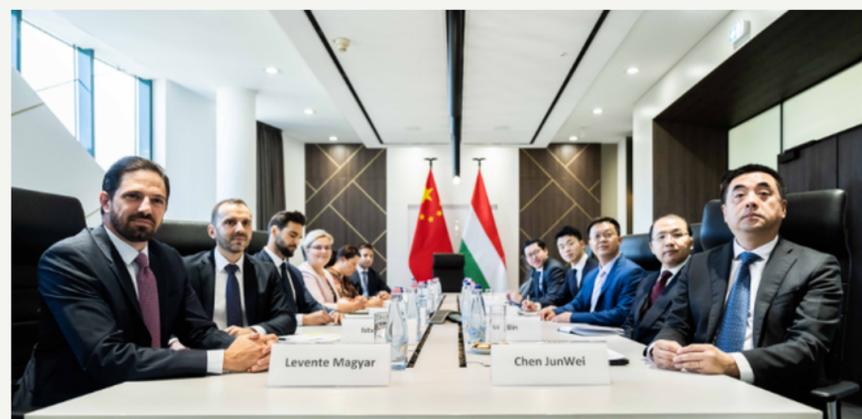
メルセデスベンツのハンガリー工場が増設を重ねることによって、ハンガリーは電気自動車製造においてヨーロッパの最も重要な拠点になると期待されている。

メルセデスベンツの巨大投資は2024年から始まり、同社はハイエンドの高付加価値モデルの製造をハンガリーに移すことになる。ハンガリーの自動車産業の生産額は約4.8兆円で輸出の割合は90%である。

出典：Forbes

ハンガリーを選んだバッテリー工場

ハンガリーで初めてのバッテリー工場が稼働したのは2018年で、ゼロだったバッテリー工場従業員は6,249人に上った。バッテリー工場およびEV関連の企業に支給された政府の補助金は合わせて4,200億円であった。ハンガリーで最も大きなバッテリー工場は、韓国のサムスンおよびSKイノベーション、そして中国のCATLである。ゴド市にあるサムスンは2,700人分の雇用を創出し、最初の段階が完成した2017年以降、増設しつづけている。SK社のコマーロム市にある工場は2020年に完成し、イヴァーンチャの第2工場は2023年から生産を開始する予定と



なっている。コマーロム工場では1,000人分、イヴァーンチャ工場では2,500人分の雇用が創出される。中国企業のCATLのデブレツェン工場はまだ計画の段階だが、9,000人分の雇用創出が約束されている。

出典：Forbes

農業の分野で日本・ハンガリー関係を強化

駐ハンガリー日本大使の大鷹正人はハンガリーの農業科学大学（MATE）を訪問し、学長のジュリツァ・チャバ博士と農業の分野における日本・ハンガリー関係の強化について会談した。大鷹大使は、農業科学大学との科学・技術的な協力が可能であると、特に北海道は農業的なポテンシャルが高く、気候的にもハンガリーに近いと述べた。神戸大学と既に存在している協力関係をより強化する方向で合意した。農業的研究においては精密農業、食品産業、バイオテクノロジーの業界がハイライトされた。



出典：MATE

日本政府がIOM Hungaryを支援



日本政府はウクライナにおける戦争によって被害を被った人々への新たな支援を発表した。ウクライナの周辺国におけるチャリティー活動を支援する目的で日本政府はIOM Hungaryに926,583ドルを寄付した。この寄付によりIOM Hungaryは活動範囲をより広げることができ、被害を被った人々へのより効率的な人道的支援ができるようになる。IOM Hungaryの活動内容はハンガリーに避難した難民を支援し、衣食住を提供することである。ウクライナにおける戦争が始まった以来、IOM Hungaryは自治体などと協力し、難民に88,466泊を提供し、21,891人を情報提供で支援した。

出典：在ハンガリー日本大使館

ポーランド関連ニュース

ポーランドの2023年4月の物価上昇が減速

ポーランドの前年比物価上昇率は2023年4月に14.70%となり、暫定予想と一致し、3月の16.10%より低下したことが確認された。これは2022年5月以来の最低数値であり、主に住宅と公共料金（前月は18.2%対19.6%）、食品と非アルコール飲料（19.7%対24%）、飲食店と

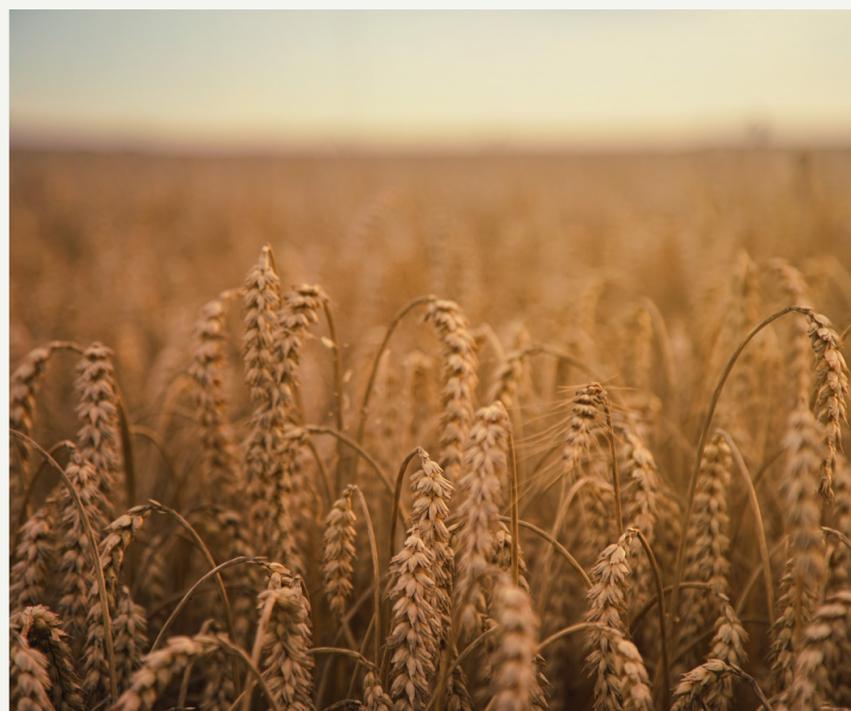
宿泊施設（16.2%対16.9%）の料金の低下が原因である。一方で、医療（9.5%）と通信（9.4%）ではインフレ率は横ばいで変化せず、輸送（4.6%対3.9%）では上昇した。前月比物価上昇率は、3月の1.1%より上昇が減速し、0.7%になった。

出典：Trading Economics (5月15日現在)

ポーランドはウクライナ産穀物の禁輸に関してEUと合意

EUはポーランド、スロバキア、ハンガリー、ルーマニア、ブルガリアへのウクライナ産穀物の輸入を禁止することで中東欧諸国と合意に達した。ウクライナ産農産物が市場価格を低下させていると主張したポーランドの農業従事者の抗議に応え、同国政府は一方向的にウクライナ産農産物の輸入および通過を禁止した。

上記の国々では小麦、トウモロコシ、菜種、ヒマワリの種、ヒマワリ油の輸入禁止が実施されているが、通過は引き続き許可されている。ポーランドが以前に禁止していたウクライナ産の残り8種類の農産物（家禽、卵、蜂蜜、牛乳など）の共同市場への影響について欧州委員会が調査する予定となっている。



出典：Notes from Poland

岸田首相、ドゥダ大統領、モラヴィエツキ首相のポーランドでの首脳会談

ポーランド共和国を訪問した岸田文雄首相は3月22日、ポーランド共和国大統領のアンジェイ・ドゥダ博士と首脳会談を行った。岸田首相は、ポーランドがウクライナの軍事的・人道的支援の拠点として果たしている大きな役割に敬意を表した。ドゥダ大統領は日本の支援に感謝し、G7議長国としての日本のリーダーシップへの期待を述べた。また、同日、岸田首相はモラヴィエツキ首相とも首脳会談を行った。岸田首相は、より多くの日本企業がポーランドに進出するよう誘致を強化したい旨を述べ、様々な分野で両国関係が進展していることを歓迎し



た。モラヴィエツキ首相は、エネルギー分野における二国間協力や防衛協力・交流の進展に期待を表明するとともに、日本企業からの更なる投資への期待を述べた。

出典：外務省

日本・ポーランド外務相会談



林芳正外務大臣は4月4日にベルギーにおいてポーランドのズビグネフ・ラウ外務大臣と会談を行った。林外務大臣は、ポーランドは日本と基本的価値を共有する戦略的パートナーであり、ロシアのウクライナ侵略への対処や「自

由でオープンなインド太平洋」の実現においてポーランドと引き続き緊密に協力していきたい旨を述べた。ラウ大臣は、岸田首相のポーランド訪問を高く評価するとともに、ポーランドへのODA供与が決定したことに対し謝意を表明した。二国間関係については、幅広い分野での協力の進展を喜ばしく思うとともに、G7議長国として国際社会の諸問題について引き続き日本と協力していきたいとラウ大臣は述べた。両首脳は、経済的強制を含む経済安全保障における連携を確認するとともに、東アジア情勢についても意見交換し、東シナ海及び南シナ海における武力による一方的な現状変更の試みに対処しなければならぬと合意した。

出典：外務省

スロバキア関連ニュース

スロバキアの2023年4月の物価上昇が減速

スロバキアの2023年4月の前年比物価上昇率は13.8%となり、前月の14.8%より低く、市場予想の13.9%とほぼ一致した。これは主に食料品と非アルコール飲料（3月は25.4%対28.2%）と住宅関連と公共料金（12.3%対13.6%）の価格下落が原因であり、2022年7月以来の最低の

数値となった。

さらに、燃料価格の値下がりに伴い、輸送コスト（-0.2%対2.2%）が2年以上ぶりに低下した。4月に前月比では物価は0.6%上昇となり、3月の1.2%上昇と比べ伸びが減速し、予想値の0.7%を若干下回った。

出典：Trading Economics (5月15日現在)

スロバキアの工業生産高、5カ月の低迷から回復



スロバキアの工業生産高は2月には4.7%減少した後、3月には2.5%増加し、スロバキアの主要産業である自動車製造が伸びを牽引した。この数字によると、全体的な工業生産高が2021年3月に前年比で上昇したが、工業生産高は2021年3月よりも、パンデミック前の2019年3月よりも低かった。個々の産業のパフォーマンスにはばらつきがあった。

業界に最も大きく影響したのは、輸送車両生産のダイナミックな成長である。成長は昨年9月以来の高水準である15.6%まで加速した。しかし、経済活動が圧迫され、インフレ率が高止まりし、中央銀行によるさらなる利上げが予想されるため、見通しは依然として不透明である。一方、ガスと石油の価格が下落したことは良いニュースである。

出典：Euractiv

中国製の電気自動車はスロバキア経済を脅かす



ドイツの保険会社アリアンツの調査によると、スロバキア経済は中国自動車の輸入に関してEUで最も脆弱で、政策が打たれなければGDPの約0.4%を失う可能性があるという。

中国製の電気自動車は欧州の自動車メーカーにとって大きなリスクとなっており、政策立案者が政策を打たない限り、2030年までに年間70億ユーロの利益損失が生じる可能性がある。同報告書によると、スロバキアはEU圏内で一人当たりの自動車生産台数が最も多く、自動車業界に最も影響されるEU加盟国である。他に影響されやすい国には、チェコ共和国、ドイツ、スウェーデン、ポーランドなども挙げられる。中国自動車メーカーの輸入はここ数年増加して

おり、欧州EV市場における中国ブランドのシェアも同様に上昇している。2019年時点ではシェアは1%未満だったが、2022年上半期には5%まで上昇した。「欧州経済にとっての自動車産業の戦略的重要性を考慮すると、政策立案者は中国や米国との相互貿易条件を模索し、充電インフラの改善を通じてBEVの普及を促進する可能性がある」と報告書に記載されている。さらに、現地の自動車組立への中国投資を許可することで、この地域でより多くの付加価値を生み出すことができると同時に、バッテリー製造に不可欠な原材料の自給率を高め、次世代バッテリー技術に投資することで、欧州の自動車産業が課題に備えることができる。

出典：Euractiv

チェコ関連ニュース

チェココルナの為替レートは上昇しつづける



チェコの自国通貨のコルナは最近、対ユーロで15年ぶりの高値を付け、多くの欧州諸国通貨に対しても上昇している。2023年4月18日時点では1ユーロは23.4コルナであった（昨年の価値は24.4コルナ）。2022年にコルナは対ユーロで3%上昇し、中東欧地域で最もパフォー

マンスの良い通貨となった。コルナは対米ドルでも好調である。（現在約1米ドル：21.3コルナ）

チェコ国立銀行（CNB）の行動はコルナを高値に保つのに大いに役立った。

アナリストによると、為替レートの上昇がCNBのインフレ対策にも役立っているという。チェコのコルナは世界的な投資会社や個人からも「安全な通貨」とみなされており、そのイメージがコルナの魅力を高め、そのレート上昇を促進している。ただ、為替レートの上昇は、安価な輸入品との競争激化により国内生産者に損害を与え、輸出者にとってもチェコの商品が外国から見て高くなるため、価格競争力が落ちてしまう可能性がある。

出典：Expats.cz

チェコの実質賃金に記録的な低下

チェコ統計局が発表したデータによると、2022年第4四半期の名目月平均賃金は前年同期比7.9%増加したが、実質では6.7%減少した。月額賃金の中央値は37,463コルナ（約234,942円）で、平均総額が最も高いのはプラハ（52,213コルナ、約327,444円）、最も低いのはカルロヴィ・ヴァリ（38,019コルナ、約238,429円）であった。賃金の上昇は5四半期

連続でインフレ率に追いついていない。これは、賃金が上昇しているにもかかわらず、人々の購買力が低下していることを意味する。燃料とエネルギー、そして多くの基本的な食料品の消費者価格は前年比で15.7%上昇した。2023年に賃金は7.6%増加する一方、インフレ率は昨年と比べて低下するものの、依然として10.5%に高止まりするという。

出典：Expats.cz

チェコは年金制度の改革案を発表

チェコのマリアン・ジュレチカ社会保障大臣は、年金制度の改革案を発表し、2024年1月1日時点で年金はインフレと国内実質賃金上昇率の3分の1に連動するという。また、早期退職は現在の退職日の5年前からではなく、退職日の3年前から可能になる。年金の1回切りスライド制に代わるボーナスは自動的に年金に加算

される。このボーナスは2つの部分で構成されている。1つはすべての年金受給者に均等な一時金であり、もう1つは受給者の年金制度への過去の拠出額に応じて決まる。ジュレチカ氏は、早期退職の資格を得るには申請者が少なくとも40年間働いていなければならないという追加条件を提案する予定である。

出典：Expats.cz

鈴木大使がパルドゥビツェの公民館開館式に出席



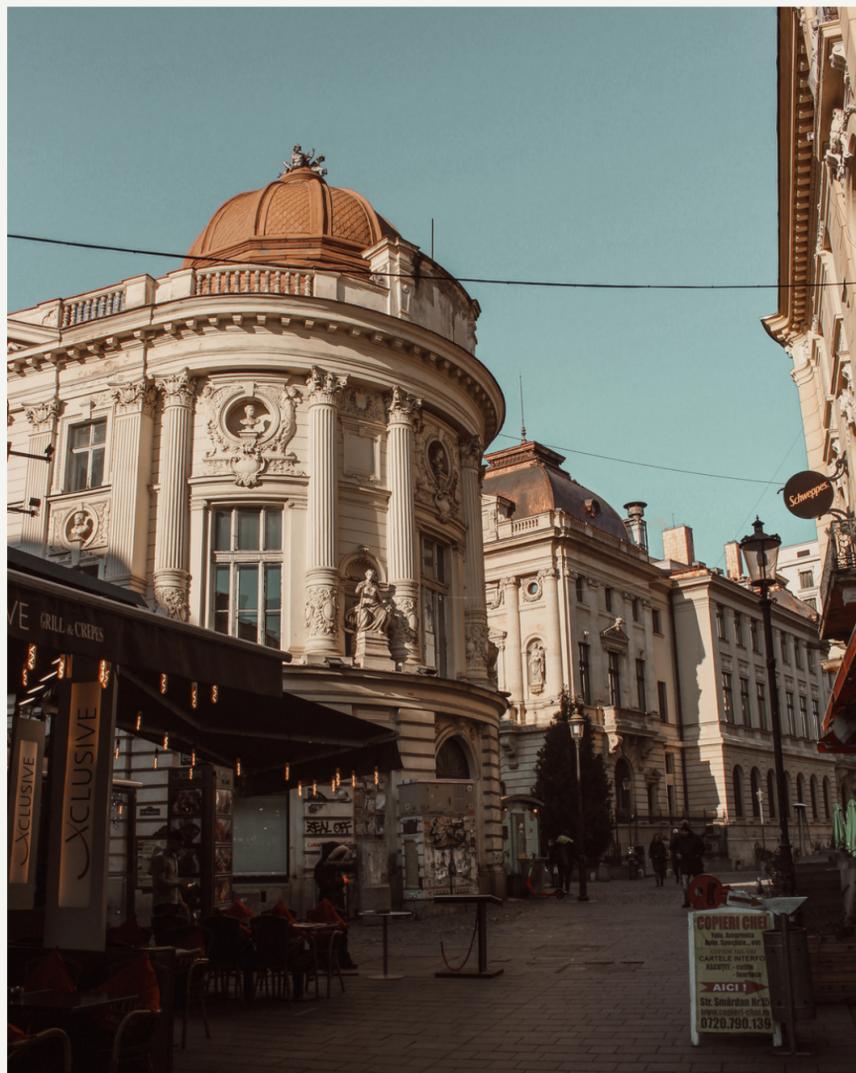
2023年4月26日、鈴木大使夫妻は、チェコ共和国にいるウクライナ人難民を支援する日本の支援による国際移住機関のプロジェクトの一環であるパルドゥビツェのカリナ公民・難民館の開館式に出席した。同館は、ウクライナからの難民を支援する情報センターとしてだけでなく、

地元住民との交流や語学研修などを通じて難民とチェコ社会を繋ぐ重要な場所となるという。日本は、チェコ政府、IOM、その他の国連機関、NGO、その他のパートナーと協力しウクライナを支援しつづけている。

出典：在チェコ日本大使館

ルーマニア関連ニュース

ルーマニアのマクロ経済状況



国際通貨基金は、2023年のルーマニア経済に関する年間平均成長率予測を以前の3.1%から2.4%に下方修正した。国際通貨基金によると、ルーマニアの経済成長率は2024年に3.7%に加速するという。ルーマニアの消費者物価上昇率は2022年には13.8%であったのに対し、2023年には10.5%の上昇が予想されている。2024年には消費者物価上昇率は5.8%に減速する見込みである。

2023年の失業率は5.6%にとどまると予想され、2022年と比べて変化はないが、国際通貨基金の以前の予測よりは10ポイント高くなった。2024年には失業率は5.4%までにわずかに低下すると見られている。

出典：SeeNews

1月にルーマニアにおける外国直接投資が35%上昇

ルーマニアへの外国直接投資（FDI）は1月に11億7,600万ユーロ（12億4,000万ドル）に達し、2022年同期の8億7,200万ユーロと比較し増加した。利益の推定純再投資を含む株式投資は9億1,900万ユーロに達し、企業間投資は

9億1,900万ユーロになった。中央銀行は暫定データを発表した声明で、1月末時点の融資総額は純2億5700万ユーロだったと発表した。2022年のルーマニアへのFDIは前年の89億4000万ユーロから106億9800万ユーロに増加した。

出典：SeeNews

植田浩大使、ルーマニアにおける日系企業について



日本とルーマニアは100年以上にわたり良好なパートナーシップを維持している。戦略的パートナーシップの目的は、文化、科学技術、研究開発、イノベーション、人材の分野だけでなく、政治・安全保障対話、経済・開発協力の強化のための枠組みを構築することであるという。これは両国間の貿易やビジネス、ルーマニアへの日本からの投資、人的交流の活性化のき

っかけとなることが期待される。また、植田大使は、現在ルーマニアには110社以上の日本企業が進出しており、4万人以上の雇用が創出されていると述べた。代表例としては、ブライラ橋の建設に日本企業のIHIが関わっており、ブカレスト国際空港へのアクセスを可能とする地下鉄M6号線の建設には日本のファンドが出資している。

出典：在ルーマニア日本大使館



ブルガリア関連ニュース

ブルガリア経済の見通し

輸出の限られた伸び率と資本形成の低下により、2022年第4四半期のGDP成長率は2.3%に鈍化した（第3四半期：+3.2%）。2023年第1四半期には、経済はさらに減速する可能性がある。1月の工業生産高は鉱業活動の崩壊によりここ2年近くで最も早いペースで減少し、小売売上高は8カ月連続で減少している。よりポジティブなこととしては、1月の輸出の伸びが

2022年第4四半期の平均から加速し、インフレ率が2月を通じて低下し（1月の16.7%から2月は16%）、3月の経済センチメントは2019年12月以来の最高レベルにまで改善した。

政治の分野では、4月2日に行われた2年間で5回目となる総選挙では明確な過半数を獲得できず、その後の厳しい長期にわたる連立協議が続くとされる。

出典：Focus Economics (4月4日現在)

ブルガリアの企業倒産は2023年に5%増加



アリアンツ・トレード・カンパニーの調査によると、ブルガリアの企業倒産は2023年に5%増加し、2024年にも同様に増加すると推定されている。世界的には企業倒産は、2023年には21%増加し、2024年には4%増加すると予測されている。2022年、ブルガリアの企業倒

産はわずか1%増加したが、これは欧州連合の18%増と西欧の22%増を大きく下回った。同報告書によると、2022年にはブルガリアでは大企業の倒産はほとんどなく、影響は主に中小企業に及んだが、2024年にはブルガリアの倒産率は20%になるとみられている。

出典：SeeNews

ブルガリアはヨーロッパ高速道路ネットワークの最終部分の工事を開始



土木グループGlavbolgarstroyの2部門を含むブルガリアの「Europe-2022」コンソーシアムは、ソフィアとセルビアの国境にあるカロティナ検問所を結ぶヨーロッパ高速道路ネットワークの最終部分を建設するため2億6,700万レフ（1億4,850万ドル）の契約で工事を開始した。この区間の長さは16.5キロメートルで、「Europe-2022」では当初6キロメートルの部

分を建設する予定で、先月建設許可が発行された。高速道路区間の残り10.5km部分の土地は1か月以内に引き渡され、数週間以内に建設許可が発行される予定となっている。

高速道路全体は18か月以内に完成する予定である。ソフィアとカロティナを結ぶ高速道路は、欧州横断交通ネットワーク（TEN-T）の一部である。

出典：SeeNews

セルビア関連ニュース

4月にセルビアの消費者物価上昇率は15.1%に低下

セルビア統計局が金曜発表したところによると、セルビアの消費者物価は3月に前年比で16.2%上昇したのに続き、4月には前年比15.1%上昇した。セルビアの消費者物価指数（CPI）は、月間ベースでは3月に前月比0.9%上昇した後、4月には0.7%上昇した。

年間ベースで最も大きな価格上昇が見られたのは食品および非アルコール飲料のセクターでは23.1%、次いで住宅、公共料金（+21.6%）、飲食店および宿泊サービス（+21.5%）であった。

前月比較ベースでは、衣料品と履物の価格は4月に2.6%上昇した。医療サービスの価格は



1.5%上昇し、家庭用機器とメンテナンス料金は1.2%上昇し、アルコール飲料とタバコの価格は0.9%上昇した。

出典：SeeNews

セルビアの不動産市場状況

セルビアのマクロ経済環境はしばらくの間、厳しい圧力にさらされており、高インフレが続き総消費量が大幅に減少している。昨年は不動産市場が冷え込み始めると予想されていたが、2022年は取引量と取引件数の両方で記録

的な年となった。

2022年にセルビアでは住宅価格水準が急激に上昇した。2023年に経済の不確実性のため建築許可数が下がり始めたが、これはまだ不動産価格には反映されていない。

出典：Portfolio

ハンガリー石油会社のMOL社はセルビアのTransnafta社と石油パイプライン建設で6月に合意



ハンガリー石油会社のMOL社は、2023年6月20日にセルビアのTransnafta社と128キロメートルの国境を越えた石油パイプラインを建設するための協定を結ぶ予定であると、ハンガリーのシーヤールトー外務貿易大臣が発表した。計画中のパイプラインはセルビア北部の都市ノヴィサドとハンガリー南部のアジェ市を結ぶことになる。

セルビア政府はエネルギー源の多様化につながるパイプラインに1億ユーロを投資する計画を

2月に発表した。

12月5日に発効したEUによるロシア産原油の輸入禁輸措置に先立ち、セルビアはクロアチアのオミサリ港のターミナルからアドリア海のパイプライン経由でロシア産原油を受け入れていた。セルビアはすでにイラクや他の国から石油を輸入している。ロシアからの輸入はセルビアの国内需要の約50%を占め、30%は他の供給業者から輸入され、20%は国内生産でまかなわれている。

出典：SeeNews

シュディ社関連ニュース

セーレンハンガリーの開所式に参加いたしました



2023年5月30日、ハンガリーのペーチ（Pécs）市に建設されたセーレンハンガリーの工場の開所式のご招待をいただきました。セーレン株式会社代表取締役会長である川田様をはじめ、ハンガリーの外務大臣シーヤールトー・ペーテル様、ハンガリー直接投資支援局長ヨー・イシュトバーン様、駐ハンガリー日本大使大鷹正人様、駐日ハンガリー大使パラノビッチ・ノルベルト様、ペーチ市を代表する国会議員であるホッパール・ペーテル様、竹中工務店の会長である竹中様やプロジェクトの実現に貢献をされたその他の方々が出席され、鏡開きを含めた素晴らしい式典でした。

セーレンハンガリーは、欧州域内における現地供給体制を構築し、需要が増している合皮シート材の生産能力を増強しグローバルでの競争力強化を図るために設立されました。

シュディ社は、日系企業の中東欧地域への進出をサポートする企業として、セーレンのハンガリーへの進出を初期段階から支援しており、現地情報提供から進出候補地の選択、会社設立、駐在員様の滞在許可取得サポートなどもしております。

中東欧進出に関し、市場の状況や機会に関する最新情報が必要な場合は、お気軽にご相談ください。



ハンガリー水素技術協会に加入いたしました



2023年4月にハンガリー水素技術協会（ハンガリー語：Magyar Hidrogéntechnológiai Szövetség）に加入いたしました。

日本は2017年12月に世界に先駆けて水素基本戦略を策定し、多くの日系企業が水素関連技術の開発活動をしていますが、ハンガリー政府も2021年に正式に水素基本戦略を発表し、

2020年に設立されたハンガリー水素技術協会はこの戦略の実施に向けたサポートをしています。

シュディ社は、水素関連技術を開発しているハンガリーおよび日本企業を繋げ、新しいビジネス機会を創出し、気候変動に対する取り組みのサポートをしております。

ニュースの引用元

ハンガリー関連ニュース

- <https://forbes.hu/uzlet/raiffeisen-elemzes-realber-magyar-gazdasag-eurozona/>
- <https://forbes.hu/uzlet/bovul-kecskemeti-mercedes-autoipar-magyarorszag/>
- <https://forbes.hu/uzlet/akkumulator-gyar-catl-samsung-sk-tamogatas/>
- <https://kaposvaricampus.uni-mate.hu/h%C3%ADr/-/content-viewer/egyre-erosodo-magyar-japan-kapcsolatok-az-agrarium-teruleten/20123>
- https://hu.emb-japan.go.jp/itpr_hu/IOM_Japan.html

ポーランド関連ニュース

- <https://tradingeconomics.com/poland/inflation-cpi>
- <https://notesfrompoland.com/2023/04/28/poland-reaches-deal-with-eu-on-ukrainian-grain-imports/>
- https://mofa.go.jp/erp/c_see/pl/page3e_001332.html
- https://mofa.go.jp/erp/c_see/pl/page3e_001332.html
- https://mofa.go.jp/erp/c_see/pl/page1e_000609.html

スロバキア関連ニュース

- <https://tradingeconomics.com/slovakia/inflation-cpi>
- <https://euractiv.com/section/politics/news/slovak-industry-production-rises-following-five-month-slump/>
- <https://euractiv.com/section/politics/news/slovak-economy-threatened-by-chinese-electric-vehicle-dominance/>

チェコ関連ニュース

- <https://expats.cz/czech-news/article/czech-crown-continues-impressive-run-where-does-your-czech-money-go-furthest-in-europe>
- <https://expats.cz/czech-news/article/real-wages-in-czechia-fall-to-record-lows>
- <https://expats.cz/czech-news/article/czech-lawmakers-address-pension-reform>
- https://cz.emb-japan.go.jp/cz/info_ambassador_activity.html#k221129

ニュースの引用元

ルーマニア関連ニュース

- <https://seenews.com/news/imf-cuts-romanias-2023-gdp-growth-fcast-to-24-820067>
- <https://seenews.com/news/fdi-into-romania-rises-35-yy-in-jan-817626>
- https://ro.emb-japan.go.jp/itpr_ja/11_000001_00827.html

ブルガリア関連ニュース

- <https://focus-economics.com/countries/bulgaria/>
- <https://seenews.com/news/insolvencies-in-bulgaria-to-grow-5-yy-in-2023-allianz-trade-82104>
- <https://seenews.com/news/bulgaria-starts-work-on-final-section-of-europe-motorway-823023>

セルビア関連ニュース

- <https://seenews.com/news/serbias-consumer-price-inflation-eases-to-151-in-april-822873>
- <https://portfolio.hu/ingatlan/20230505/sajatos-lakaspiaci-helyzet-alakult-ki-a-deli-szomszedunkban-a-gazdasagi-lassulas-ellenere-is-szarnyalnak-a-berleti-dijak-612978>
- <https://seenews.com/news/hungarys-mol-serbias-transnafta-to-sign-oil-pipeline-construction-deal-in-june-822937>